

国際大会参加報告書

2008年 6月 23日

社団法人 日本ボディビル連盟
会長 玉利 齋 様

報告者

コーチ 朝生照雄

大会名	第4回東アジアボディビル選手権大会				
開催期間	2008年 5月 27日 ~		年 5月 31日		
開催場所	国名: モンゴル		都市名: ウランバートル		
参加国数	7カ国		参加選手数	70名	
役員		役員名	役職・他		
	団長	玉利 齋	会長		
	監督	吉田 進	副会長		
	コーチ	朝生照雄	強化委員長		
	審査員	朝生照雄			
	通訳	吉田 進			
選手	選手名	所属連盟	カテゴリー	順位	備考
	小久保一美	東京	男子 60KG級	優勝	
	佐藤貴規	東京	男子 65KG級	優勝	
	松尾隆太郎	千葉	男子 80KG級	優勝	
	鈴木 雅	東京	男子 85KG級	優勝	
	足立晃子	東京	女子 52KG超級	3位	
	望月朋子	愛知	ボディフィット-160cm級	優勝	
	山下由美	宮城	ボディフィット+160cm級	3位	
レポート	別 紙				

※本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。
※レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。

第4回東アジア大会について報告致します。

5月27日(火)から31日までモンゴルの首都ウランバートルにおいて開催され、団長として玉利会長、監督として吉田副会長、コーチ兼審査員として私朝生が役員として、また選手7人が参加致しました。

東アジア大会は昨年山口で開催し12個の金メダルを獲得したところは記憶に新しいところですが、今年は時期としては5月下旬というシーズンとしてははやいものでしたが、選手全員良く調整して期待にこたえてくれました。

今回は中国も参加し、7カ国、選手はWエントリー、トリプルエントリーもありましたが70名が参加しております。

男子は皆良く健闘し、4人全員が優勝、女子もボディフィットネス-160cmで望月朋子さんが他を圧倒して優勝しました。

また、同じくボディフィットネス+160cmに出場した山下由美さんは短期間で頑張りすぎたこともあり、大会10日前に腰痛を起こし、フィットネス出場を断念し、急遽、ボディフィットネスに出場を変更しましたが、見事3位となりました。審査をしていた私は自信を持って2位につけております。

また、女子52KG超級に出場した足立晃子さんも良く健闘し、レベルの拮抗している中3位に入りました。

今年は10月19日よりアジア競技会であるバリビーチゲームが開催されますが、今後JOCと派遣人数等の交渉が始まるかと思いますが、70KG、75KG級についてはドーハアジア競技会や昨年の世界選手権でも実績を残しておりますが、他のカテゴリーにおいても実績を獲得する必要があります。

そのような事情からも、60KG 65KG 80KG 85KGのクラスでこれ以上ない成績を修められた事はたいへん意義深く評価できることと思います。